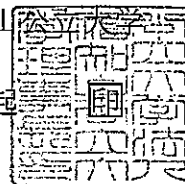


福公大発第 1 4 4 号  
令和 3 年 8 月 1 0 日

公立大学法人福知山公立大学評価委員会  
委員長 青山 公三 様

公立大学法人福知山

理事長 井口 和起



## 意見書

令和 3 年 8 月 3 日付けで通知のありました「令和 2 年度に係る公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果案」について、公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領に基づき下記のとおり意見を提出します。

### 記

1. 本法人の意見  
別表のとおり

## 別表

## 評価結果案に対する意見

| 年度計画番号 | 評価委員会による評価結果   | 意見  |
|--------|--|---|
| 74     | <p>・地域経営学部的一般選抜において前年度より大きく志願者が減少しており、国公立大学平均の志願倍率よりも下回っていることから、「3」は妥当ではなく、「2」とする。編入学制度の導入を一定評価したとしても、根幹となる一般入試の志願者減をもって「年度計画を概ね実施している」とは評価し難い。</p> <p>・目標 850 人の志願者が 663 人とコロナ禍といえ昨年度をも下回った。要因の分析を進め次年度に連鎖しないように努力願いたい。</p> | <p>・本項目は「財務内容の改善に関する目標」となっています。中期目標の自己財源比率の増加を達成するために、中期計画では「定員増を行い、定員を充足する。」という計画を立てています。令和2年度は入学定員200人に対し、205人の入学者を獲得しており、定員を充足し、財務基盤の安定化に向けた取組みは達成しているところです。財務の観点においても、単年度の志願者数減少により自己財源が減少していますが、長期的な財務面への影響は限定的であり、法人運営自体に大きな支障は出ていません。本法人としては、評価を判断する基準が「定員充足」と認識していますので、評価「3」が妥当と判断しています。</p> <p>・一般選抜志願者倍率は、中期計画番号10の入試制度（アドミッション）に関わるものです。</p> |